

英語での論文刊行を目指している研究者のためのワークショップ

○菊地真理（大阪産業大学）、久保田裕之（日本大学）

本企画は、昨年に引き続き、研究活動委員会若手委員による「国際化の加速」をテーマとしたワークショップの第二弾として行うものである。学術研究のグローバル化が進展するなか、海外で調査を行い、日本の事例と国際比較を試みる機会も広がっている。また、海外でひらかれる学会や国際会議で日本の調査研究を発表する場も増えつつある。本学会においても、多くの会員がこれらの国際舞台で活躍しているが、研究内容を英語で論文化して刊行する、海外ジャーナルに投稿する、あるいは海外ジャーナルに掲載される研究論文が増えているとはいえない。

そこで、学術書等の出版物や海外ジャーナル掲載論文など英語での論文刊行の業績をもつ会員を招き、量的データおよび質的データを用いた英語論文それぞれの執筆のポイント、日本語論文との構成の違い、データをまとめて英訳するにあたっての苦労、執筆の動機や刊行にいたるまでの経緯などをお話いただき、そのノウハウを学びたい。また、海外ジャーナル投稿を見据えて、*Journal of Marriage and Family* や *Family Relations* など学術誌に論文掲載経験のある会員より、投稿先ジャーナルの選定、投稿の失敗談、成功（掲載）の秘訣、査読のポイントなど、実践的なアドバイスをいただく。

本企画は、英語で研究論文の執筆を目指している人、研究成果を海外へ積極的に発信したいと考えている人、海外ジャーナルの査読がどのようなものか関心のある人、などを対象としている。多くの会員に気軽に参加してもらいたいため、ラウンドテーブルのワークショップ形式で行う。英語研究論文の執筆から刊行までのプロセスを知ること、研究成果を海外に発信する動機づけとなるようなワークショップにしたい。

（キーワード：英語論文の刊行、ワークショップ、国際化の加速）